

平成22年6月1日発行

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



大盛況のゴールデンウィーク・アマゾン子どもフェスティバル「吹き矢体験」。思いっきり息を吹き出して！



国際村だより もくじ

- P 2～3：平成22年度出羽庄内国際村事業計画
 P 4：新妻香織氏講演会
 ゴールデンウィーク・アマゾン子どもフェスティバル
 P 5：2-day アメリカ英語実践セミナー
 せかいの台所 バングラデシュ／カンボジア
 P 6：鶴岡中央高校 留学生からのおたより
 コロラドスタディツアー募集締め切り迫る
 P 7：これからの事業
 訪問団（インド・コロラド）来鶴
 東ドイツの童話を原語で読もう！
 夏休みアマゾン子どもフェスティバル
 P 8：出羽庄内国際村ワールドバザール



アマゾン民族館

世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00～17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料！

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 53

Quarterly

第16回出羽庄内国際村

ワールドバザール

6/13 (日)
10時～15時

みんな来てね！ 待ってます～



ステージでは
 ・大道芸(中国雑技)
 (11:00～、13:00～の2回)
 ・歌や楽器の演奏など

正面玄関前では
 大人気のフリーマーケットや
 フェイスペインティングなど



館内では
 洋菓子・和菓子の販売やバザー、
 国際交流団体の紹介など

交流広場では、
 おいしい世界の
 料理や雑貨などの
 販売



ボランティアスタッフ募集

ワールドバザールのボランティアスタッフを募集しています。都合の良い時間でOKです。スタッフとして参加してみませんか？

- 活動時間 8:45～15:30
 ○活動内容 バザールの準備・運営
 ※申込みは出羽庄内国際村まで
 電話 0235-25-3600

環境にやさしいお祭りにしましょう

ワールドバザールではエコへの取り組みとしてリサイクルしやすいものを使い、ゴミの分別・減量に取り組めます。

○みなさんをお願いします!!

ぜひ、マイはし、マイうつわ、マイバッグを持参してください。みんなの力で環境にやさしいお祭りにしましょう。

あとがき

本号では恒例により、今年度の事業計画など、国際村で取り組んでいる様々な事業をお知らせしております。特に大きく変わってはおりませんが、今年度は、地域の青少年の国際感覚の育成、英語実践力の向上を図るため、夏休みの期間を利用して県と姉妹州にあるコロラド州に訪問団を派遣する事業を計画しております。語学の学習はもとより、いろいろな体験を通して有意義な事業にしていきたいと考えております。

今年度も、多くの皆さんから国際村の事業に積極的に参加していただきたいと思いますし、また皆さんのご協力とご支援をいただきながら事業に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

賛助会員へのご協力をお願いします

国際村では、地域に国際交流の輪を広げ、より広範囲で有益な事業を実施するために、賛助会員制度を設けております。財団の設立目的に賛同され、事業および運営にご支援くださる個人、法人を募集しております。

《年会費》一般／3,000円、高校、大学生／2,000円、小、中学生／1,000円、法人／1口10,000円
 《期 間》平成23年3月31日まで

会員特典

- 会報「国際村だより」の送付
- 主催事業のご案内
- 主催事業の参加料割引(10%)
- アマゾン民族館の入館無料
- 会報で団体名の紹介(法人会員のみ)

2010.4－2011.3

出羽庄内国際村の事業計画

(財)出羽庄内国際交流財団は、出羽庄内国際村を活動拠点に、関係団体及びボランティアの方々と協働の組織を核にして、地域の人たちの国際交流の促進を図ります。

また、地域と外国出身の住民が共に安心して暮らしていける環境づくりを目標として、4つの項目を重点的に事業に取り組みます。

【国際交流を促進する事業】

交流イベントを開催するほか、交流事業の開催支援を行います。
主催事業は、国際交流関係団体やボランティアの方々を中心に実施し、活動の輪を広げていきます。

- ワールドバザールの開催
- 音楽祭の開催
- コロラド州中高生訪問団受入れ
- インド高校生訪問団短期受入れ
- 新年を祝う会（交流会）の開催



音楽祭

【国際理解を促進する事業】

様々な国や地域の文化や成立ちなど、間いたり触れたり、実際に体験してみて、知っていただきます。

- 外国語講座の開催
- 英語交流クラブ
- 中国語一日体験講座
- せかいの台所（料理教室）の開催
- 太極拳講座の開催
- 小中学校国際理解事業への協力
- コロラドスタディツアー（中高生、社会人）
- 交換留学への支援



せかいの台所

【多文化共生を促進する事業】

地域住民と外国出身住民お互いが、それぞれの文化や習慣を理解し、共に安心して暮らしていける地域づくりを行います。

在住外国人への支援だけでなく、地域が一体となった「多文化共生」の地域づくりを目指します。

- 日本語教室運営の支援
- 生活相談窓口の設置
- 通訳や翻訳の対応
- 外国人留学生への奨学金
- 多言語生活ガイドブックの配布
- ホームページにおける多言語での情報提供



多言語生活ガイドブック

【民族文化を学習・研究する事業】

様々な国や地域の民族資料をもとに、人びとの生活やその地域の自然を紹介します。

- 特別企画展の開催
- アマゾン子どもフェスティバルの開催
- アマゾン自然館との連携
- アマゾン民族館入館料の割引サービス



アマゾン子どもフェスティバル

今年度の具体的な取り組み

国際交流事業では

◆ワールドバザール

様々な国や地域の料理や雑貨の販売、中国の伝統雑技などのステージコーナー、フリーマーケットなど、国際交流関係団体と外国出身者、住民が交流する事業です。

毎年、エコにも取り組んでおり、リサイクルトレー（表面のフィルムはゴミに、トレーはリサイクルに）の使用と、使用済み割りばしをリサイクルに出すことで、燃やすゴミの軽減に努めています。今年度もリサイクルトレーの使用に加え、お客さんへはマイバッグ、マイはし、マイうつわの持参をPRします。

◆音楽祭2010

世界の様々な民族音楽や楽器を紹介する事業です。
今年は9月18日(土)にモンゴル民族音楽のコンサートを開催します。ホーミーや馬頭琴の演奏などが楽しめます。

◆訪問団の受入れ事業

今年度は2団体が鶴岡に来る予定です。ホームステイや学校訪問、羽黒山石段登りなど、地域での交流と文化体験を予定しています。

○コロラド州中高生訪問団（6月：6名）

○インド高校生訪問団（6月：25名）

国際理解事業では

◆様々な外国語講座

毎年開催している英語や中国語の講座のほか、普段は触れることの少ない外国語の短期講座開催を予定しています。

また、言語だけでなく、歴史や文化、料理などを通して、様々な国や地域を紹介します。

◆せかいの台所

外国出身の方から料理を学び、その国や地域の文化に触れる講座です。

年間6回（偶数月）開催します。

◆太極拳講座

文化体験として、中国武術の「楊式太極拳講座」を開催します。

◆コロラドスタディツアー

訪問団（中学・高校生、社会人を公募）をアメリカ・コロラド州デンバーに派遣し、ホームステイなどを通して、国際感覚の育成、英語実践力の向上、異文化理解を深めます。

○中高生 7月29日～8月10日（13日間）

○社会人 7月29日～8月6日（9日間）

◆交換留学への支援

鶴岡中央高校とアメリカ・ワシントン州サムナー高校が今年から実施する交換留学への支援を行います。

○中央高校からサムナー高校へ 2名（4～6月）

○サムナー高校から中央高校へ 2名（7～8月）

多文化共生事業では

◆生活相談窓口の設置

家庭のこと、医療のこと、子育てのこと、在留資格のことなど、匿名でも相談できます。

対応できる外国語は、中国語、韓国語、英語です。
外国出身者だけでなく、地域のどなたでも相談できます。

中国語、英語は、携帯電話でいつでも相談を受けることができます。

○中国語：090-9638-5621

○英語：090-9638-5600

◆外国人に役立つ情報の提供

在住外国出身者が生活する上で必要な情報、制度、身近にある施設のことを掲載した多言語生活ガイドブック・ガイドマップを鶴岡市役所外国人登録窓口、国際村窓口で配布します。

また、鶴岡市の観光ガイドの多言語（英語・中国語・韓国語）版を、ホームページに掲載するとともに、鶴岡に来た外国人旅行者等への通訳、必要な情報提供に協力します。

民族文化学習研究事業では

◆特別企画展示

「世界の民族と文化展」を開催しています。

◆アマゾン子どもフェスティバル

ゴールデンウィークと夏休みに、子どもを対象とした学習事業を開催します。

◆アマゾン民族館入館料割引サービス

やまがた子育て応援パスポート事業、日本海きらきら羽越観光圏「きらきらパスポート」事業に協賛し、該当者の入館料を割引します。



コロラドスタディツアー



アマゾン民族館特別企画



特定非営利活動法人フー太郎の森基金 代表

にいつまかおり

新妻香織氏講演会

『アフリカでの植林活動を通して』

3月6日(土)、アマゾン民族館の特別企画として、アフリカをテーマとした民族資料の解説と講演会を開催しました。

午前10時からアマゾン民族館内で展示しているアフリカの資料などについて、山口館長が解説。また特別ゲストとして参加した山形大学農学部留学生



ピーターさんのアフリカ紹介

のピーター・クラブー・アニミビーさんからは、母国ガーナの民族性や文化について、結婚などの具体的な習慣を例に紹介していただきました。

会場をホールに移した後半では、特定非営利活動法人・フー太郎の森基金の代表である新妻香織氏を迎え、講演会を開催しました。



「フー太郎の森基金」は、エチオピアの北部にあるラリベラという小さな町で、一羽の

フクロウとの出会いをきっかけに植林活動をしているNPO法人。地元子ども達に対し、水の問題を解決するための植林の重要性や、植えた木も計画的に使わなければならないことなどを教育しながら、植林を中心に、水タンクの設置やゴミ回収など様々な活動をしています。

新妻氏の講演では、たくさんのスライド写真とともにエチオピアの環境や人々の生活の実情、問題などが紹介されました。それがただ一国の問題ではなく、世界全体の問題であること、さらに地球規模での環境保全の大切さについてもお話いただきました。

また講演後には仙台で活躍しているギター奏者・小関佳宏氏による演奏も行われました。

アマゾン民族館では、今年も昨年に引き続き、企画展「世界の民族と文化」を開催しています。民族衣装や生活の道具など、世界各地の民族資料を展示しています。ぜひおいでください。



5/3 ゴールデンウィーク・アマゾン子どもフェスティバル

ゴールデンウィークは天気にも恵まれ、気持ちの良い連休でした。アマゾン民族館では、5月3日(日)に「ゴールデンウィーク・アマゾン子どもフェスティバル」を開催しました。今回のスライド上映のテーマは「アマゾン先生とインディオ達」。スライドを見ながらアマゾン先生の体験談を聞き、クイズラリーを頑張った子ども達には、モルフォチョウなどのハネが入ったしおりをプレゼント。その他、インディオの羽根飾りをつけるコーナーや、マンジョーカという芋などの収穫物を運ぶ時に使う背負子(よここ)をかついでみる体験コーナーもあり、大変賑わいました。その中で一番人気だった



中庭のミニジャングル

のが吹き矢体験コーナー。子どもでも簡単に吹ける吹き矢で、ジャガーやサルなどの動物の的を狙います。動物

に当たるとココナッツ飴がもらえるという事で子ども達は大興奮！みんな最初はうまくできないのですが、試すうちに段々姿勢も良くなり命中度も上がってきました。保護者の皆さんの子どもへの指導にも熱が入っていました。親子で楽しくアマゾンに住むインディオ達の狩猟生活などを体験できました。



動物をよ〜くねらって…当たるかな？

2-day アメリカ英語実践講座

4月3日、4日に「2-dayアメリカ英語実践講座」が開催されました。今回はアメリカ・コロラド州から2名の講師をお迎えしました。来鶴したのは、コミュニティカレッジで教鞭をとるリンダ・ヤズダニさんと、異文化マネジメントの企業向けコーチングなどを行っている村治孝浩さんです。

参加者は2日間で31名。高校生から大人まで、英語に興味を持つ幅広い年代の方々が集まりました。

1日目はアメリカで良く使うイディオムを習い、それを使って例文を考えたり、リズムにのって英語を話す練習などをしました。2日目は、発音の練習をしたり、丁寧な英語の言い回しや、英語圏の国々でどのよ

うに発音が違うかなどを学びました。

2日間、午前・午後と違う授業内容でしたので、飽きることなく参加できるプログラムで、参加者からも大変好評でした。また、自ら質問などを積極的にして、とても活気がある講座でした。



講師の村治さんとリンダさん

リンダ先生より

初来日が決まった時は、少し不安でしたし、場違いなのではと思ったりしました。でも、国際村で実際に授業をしてみると、不安な気持ちは全くなくなりました。国際村のスタッフはフレンドリーで、自分の家にいるかのようにとてもリラックスして過ごすことができました。また、参加者のみなさんも、とても一生懸命取り組んでくれたので、この2日間は私にとって忘れられない日々になりました。またぜひ機会があれば、日本に戻ってきたいと思います。



参加者のみなさんより

- わからない表情をしているとゆっくり話してくれたので、楽しく受講できた。
- バラエティに富んだ勉強法であきませんでした。
- ふだん勉強できないことを学べて良かった。(発音や慣用句など)
- 一生懸命教えてくださっている姿勢が良かった。
- また2人にセミナーをしてほしい。

国際村 せかいの台所

3/27 バングラデシュ料理 ～ファルジャーナ・ヤスミンさんの台所～

平成21年度最後の出前講座は羽黒編。4月間近とはいえ、時折激しく雪の降る天気の中、庄内各地から集まった6名が参加しました。

メニューは定番のチキンカレーに、豆を使ったおかゆ「キチュリ」、レンズ豆を使った揚げ物「ピアジュ」、そして、お米と牛乳を使った甘いデザート「パエシ」と多彩。料理にはクミン、コリアンダー、ターメリック、シナモンなどのスパイスがふんだんに使われているので、どの料理も体に良くて優しい味のするお料理ばかりでした。会食時には感想を交えながら講師に質問するなどし、終始和やかに過ごしました。



バランスのいいメニュー！

4/25 カンボジア料理 ～クイさんの台所～ (講師:バン・クイさん)

平成22年度第1回目のせかいの台所は、国際村“初”のカンボジア料理。カンボジア出身のバン・クイさんにカンボジアカレーと



チキンスープの2品を教えてくださいました。ハーブやスパイスをたっぷり使い、鶏まるまる1羽を大胆にカット、ココナッツミルクでまろやかに仕上げた野菜たっぷりのカレー。参加者が驚いたのは、このカレーにピーナッツを加える事。これがまた甘みと歯ごたえがあり不思議とおいしいのです。そして、カレーで熱くなった体を冷ますスープは、レモンの塩漬けを使ったさっぱり味。初めて見る食材に参加者の皆さんの目は釘づけ。今まで様々な国の料理を取り上げてきましたが、まだまだ知らない食材・調理法がたくさんありますね！



レシピはHPをご覧ください。

鶴岡中央高校の生徒 2 名 ワシントン州・サムナー高校へ

今年 4 月から県立鶴岡中央高校の生徒 2 名が、アメリカ・ワシントン州にあるサムナー高校に 3 ヶ月間留学しています。昨年サムナー高校の日本語を学んでいる高校生 7 名が中央高校を 1 日訪問したことがきっかけで、中央高校とサムナー高校との関係ができ、今回の留学が実現しました。現在アメリカの高校に通っているのは 3 年生の小野慎平君と、2 年生の齋藤春佳さん。二人は日本とは違うアメリカの高校やホームステイでの生活をのびのびと体験しているようです。

二人の帰国は 6 月末。二人と一緒にアメリカの高校生アナさんとマルコム君が来日し、2 か月ほど中央高校に通うなど、日本の生活を体験します。今回は慎平君からお便りをいただきましたので、ここで紹介します。



左から マルコム君、春佳さん、アナさん、慎平君

コロラドスタディツアー 締め切り迫る！

国際村では、今年もアメリカ・コロラド州へのスタディツアーを予定しています。コロラド州といえば山形県と姉妹州県という縁のある所。昨年は新型インフルエンザの影響で正式なツアーは実施しませんでした。今年では中・高生と社会人のツアーを同時期に行います。

中・高生は 7 月 29 日から 8 月 10 日まで、社会人（大学生以上）は 7 月 29 日から 8 月 6 日までの予定で、いずれも全泊ホームステイをします。参加費は渡航費込みで 27 万円です。現地での英語のスキルアップを目指したプログラムの他、コロラドの大自然を満喫できるような企画を現地コーディネーターと計画しています。応募の締め切りは 6 月 6 日(日)。詳細は国際村事務局までお問い合わせください。



サムナー高校へ留学中 小野慎平くんよりお便りがきました

こちらへ来てから一カ月半が経ちました。到着して間もない頃は、様々な文化の違いに驚かされてばかりでしたが、今ではそれらにも慣れ、生活リズムも整ってきました。朝 6 時前に起床し 7 時には家を出発します。通学手段はマルコム（ホストの生徒）の車です。授業は 90 分×4 時間です。昼休みが特殊で、3 時間目が 45 分×2 に分かれており、その間に昼休みが入っています。昼食は校内にあるカフェテリアで食べています。4 時間目終了の合図のブザーが鳴ると放課後となり、生徒たちは帰り始めます。家では兄弟や近所の子どもと遊んだり、勉強したり、洗濯や掃除もします。夕食はジーナ（お母さん）の手作りで、毎日とてもおいしいです。休日はホストファミリーそろって毎週いろんな所につれて行ってくれます。学校で僕は Levi（リーヴァイ）という名前、春佳さんは Victoria（ヴィクトリア）という名前を付けてもらいました。みんな親しくしてくれるのですが、困ったことに英語が聞き取れないことがよくあるのです。こちらに来てから毎日積極的に話しかけるように努めていますが、英語がうまくなったという実感はなかなかありません。中央高校の先生に英語がペラペラになって帰ってくることを期待されていることもあり、これについてはかなり不安を感じています。よりコミュニケーションの方法に工夫をこらし、英会話の向上を図っていきたいと思います。残りの半分、楽しむことも忘れず、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

現地コーディネーター 村治孝浩氏よりメッセージ

デンバー、それ、どこ？そう、昔ジョン・デンバーって歌手がいたよね！うーん、日本ではまだ知名度が高くないコロラド州デンバー。でもアメリカでは最も人気のあるパケーション地の一つなのです。全長 4,800 キロメートルにも及ぶロッキー山脈をダウンタウンから眺め、車で 1 時間も走れば、そこは日本では経験できない標高 3,700 メートルのアルペン天国。緑の高原を縦横無尽にトレイルが走り、傍らには透き通った水を湛える湖水が広がります。今回の「コロラドスタディツアー」では、この雄大なロッキーを存分に体験していただきます。息を呑む光景に驚く湖水へのハイキング、ロッキー山中をボートで下るラフティングや乗馬体験などなど。アメリカの文化や英語も学べるなど盛りだくさんの内容。大西部アメリカを五感全て活かして学ぶスケールの大きなツアーに、ぜひご参加ください。



出羽庄内国際村 でわしょうないこくさいむら DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

このコーナーは、出羽庄内国際村の事業や募集などをお知らせするページです。詳しくは、出羽庄内国際村事務局にお問合わせください。

短期講座 東ドイツの童話 Der kleine Angsthase ちいさなビクビクうさぎ を原語で読もう！

今年度最初の短期講座はドイツ語。今回は言葉を学ぶ外国語講座とは少し違います。

東ドイツの童話（絵本）を題材に、原語の朗読を聞いたり、実際声に出して読んだりしながら講座を進めていきます。講師の佐藤伸浩さんが取り上げた絵本は、東ドイツでも良く知られている童話『Der kleine



Angsthase（ちいさなビクビクうさぎ）』。以下は佐藤さんのメッセージです。「ご存知のように、20 年前まで、ドイツは 2 つの国に分かれて

Der kleine Angsthase（絵本） いました。言うまでもなく、東ドイツと西ドイツです。ソ連の強い影響下にあった東ドイツは、様々な統制の下で、個人の自由は制限されていました。そんな中でも多くの童話が創作され、長く読み続けられています。昨年、その 20 年の節目に、名作読み聞かせ CD が発売されました。皆さんと一緒に童話を読んでみたいと思います」。

今年はインドとアメリカから 訪問団が来鶴します！

出羽庄内国際村では毎年外国からの訪問団を受け入れています。今年は 6 月に二つの中高生グループが鶴岡を訪れます。

一つはこれまで何度も山形を訪れている、アメリカ・コロラド州の、日本語を学んでいる中高生のグループ 6 名。昨年は新型インフルエンザの影響で来鶴できませんでした。今年は 6 月 11 日から 4 泊 5 日の予定で鶴岡に滞在します。

また 6 月 25 日から 30 日までの間、25 名のインドの高校生が鶴岡を訪問します。これは 21 世紀東アジア青少年大交流計画という国の事業で、アジア各国で選抜された高校生らが日本の各地を訪れ、交流を深めるというもの。今年も鶴岡中央高校で学校生活を体験したり、地域での環境への取り組みを学んだりする予定です。

いずれの訪問団の受け入れも、地域の皆さんのホームステイ受け入れなど温かいご支援があってこそ実現できるもの。ご協力よろしくお願いします。今年もどんな交流の芽が生まれるか、楽しみです。

☆日程：6 月 30 日、7 月 7・14・21・28 日 水曜日全 5 回

☆時間：19：00～20：30

☆場所：国際村 1 階図書コーナー

☆対象：ドイツ語や童話に興味のある方ならどなたでも
ドイツ語初心者でも可能

☆定員：先着 10 名（3 名以上で開講）

☆参加費：2,500 円（お茶付き）

*ドイツより原書を取り寄せますので、別途 2,000 円位かかります。

☆内容：東ドイツの童話（絵本）を読む、CD で原語の朗読を聞く、等

☆申込み締切：6 月 20 日(日)

【講師：プロフィール】

佐藤伸浩氏（児童書翻訳者：ドイツ語/鶴岡市在住）

ドイツ語童話「ちっちゃな魔女」シリーズの翻訳者。大学卒業後、国際物流会社に就職し、ドイツ生活を 4 年体験。その後、貿易の仕事を経て現在に至る。鯉川支店店主。



夏休みアマゾン 子どもフェスティバル

今年も夏休みイベント「夏休みアマゾン子どもフェスティバル」を開催します。昨年はアマゾンのインディオの言葉を学んだり、クラブアスやアサイーといったアマゾンフルーツを試食したり、参加者全員でインディオに変身したりと、アマゾンづくしの体験学習をしました。今年の子どもフェスティバルも、アマゾンについてたくさん学べる楽しい内容をご期待ください。



■日時：8 月 14 日(土)
午前 10 時～12 時頃
■対象：小学生（要申込）
■参加費 500 円
詳細は後日お知らせします。

昨年の子どもフェスティバル